

植物ゲノム・遺伝子源解析センター

月例セミナー

とき 平成28年1月27日(水)
16時～17時

ところ 農学部DS304講義室

題目

CRISPR/Cas9システムを用いた植物のゲノム編集

講師

農業生物資源研究所 阿部 清美 博士

概略

ゲノム編集とは、Transcription Activator-Like Effector Nucleases (TALENs) やCRISPR/Cas9システム等の人工ヌクレアーゼを用いてゲノム上の標的遺伝子の特異的に改変する技術である。近年、植物においても、TALENsやCRISPR/Cas9システムを用いたゲノム編集が盛んに行われている。

私達の研究室では、主にCRISPR/Cas9システムを用いて、イネやタバコ等の植物のゲノム編集を行っているので、その結果について紹介したい。また、合わせてpiggyBacトランスポゾンを用いた、マーカー遺伝子除去の方法についても紹介する。

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター

(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)